

令和3年度の出水について

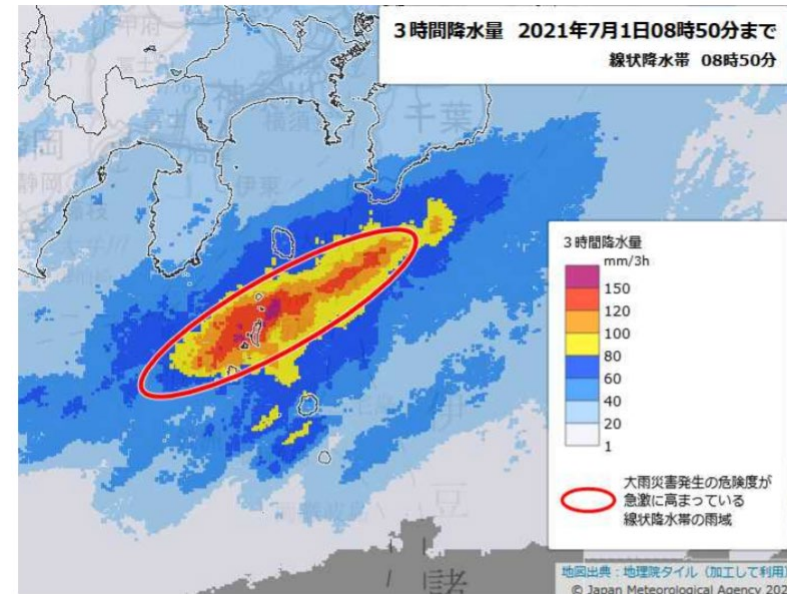
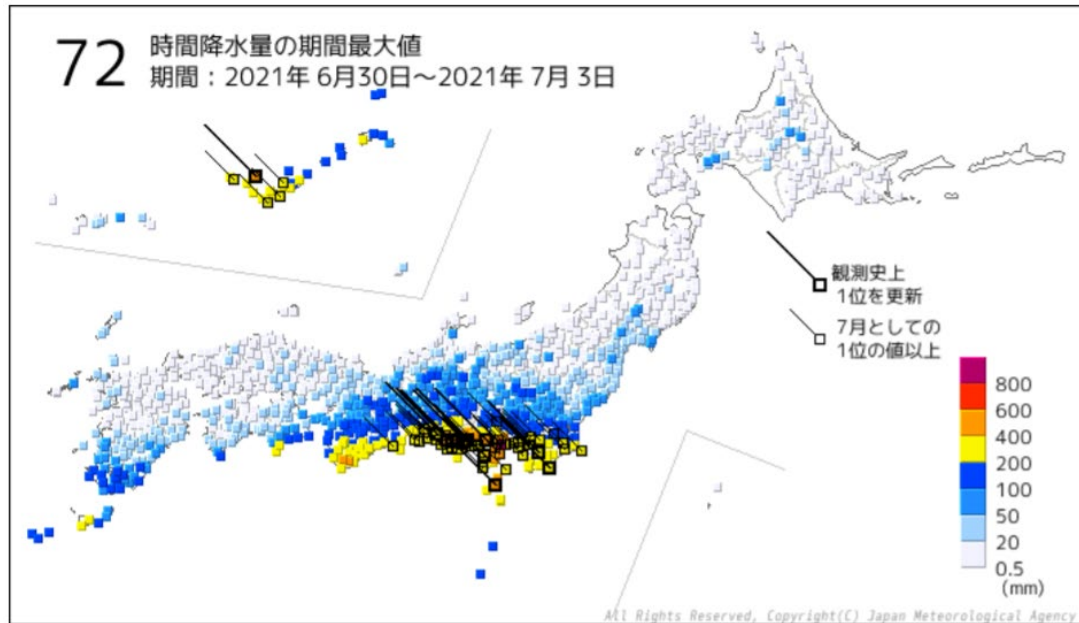
1. 令和3年7月1日からの大雨
2. 令和3年8月11日からの大雨

1. 令和3年7月1日からの大雨

①降雨の特徴

- 6月末から梅雨前線が北上し、7月1日から3日にかけて西日本から東日本に停滞した。
- 7月3日にかけて、梅雨前線は本州南岸に停滞した。7月1日には伊豆諸島で線状降水帯が発生し、日降水量が300ミリを超える大雨となった。
- 7月2日から3日にかけては、東海地方から関東地方南部を中心に断続的に雨が降り、静岡県の複数の地点で72時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど記録的な大雨となった。

3時間降水量(解析雨量)



気象庁：7月1日から3日の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨について
(https://www.jma.go.jp/jma/press/2107/08b/20210708_saimota.html)

1. 令和3年7月1日からの大雨

②全国の被害

○ 令和3年7月の大雨により、静岡県熱海市で土石流が発生した他、河川の増水や低地の浸水が発生し、**死者26名、行方不明者2名、住家の全半壊等174棟、住家浸水3,110棟の被害**となった。

※内閣府「令和3年7月1日からの大雨による被害状況等について」(令和3年12月3日13時現在)

土砂災害発生件数:263件

【土砂災害内訳】

土石流等: 25件

地すべり: 8件

がけ崩れ: 230件

発生件数上位5県

神奈川県	72件
鳥取県	44件
島根県	24件
静岡県	23件
千葉県	22件

【被害状況】

人的被害

死者 22名

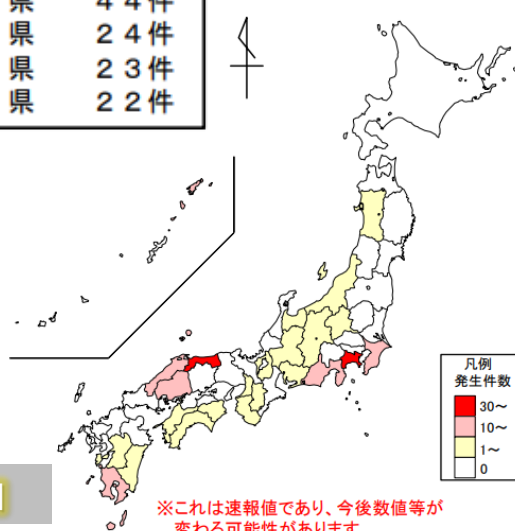
行方不明者 5名

負傷者 7名

家屋被害

全壊 133戸

一部損壊 26戸



位置図

※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

出典: 令和3年7月1日からの大雨による土砂災害発生状況 (2021年8月3日 9:30時点) / 国土交通省砂防部

7/3

がけ崩れ

ずし めまま
神奈川県逗子市沼間



逗子I.C.付近

7/3

土石流

あたましあいぞめがわ
静岡県熱海市逢初川



被害状況(7/5撮影)
(写真は国土地理院)

7/6

地すべり

ながの しののい
長野県長野市篠ノ井



7/8

がけ崩れ

くらし おはら
鳥取県倉吉市大原



国土交通省: 令和3年7月1日からの大雨による土砂災害発生状況
(https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/r3dosha/r3_0701ooame.html)

1. 令和3年7月1日からの大雨

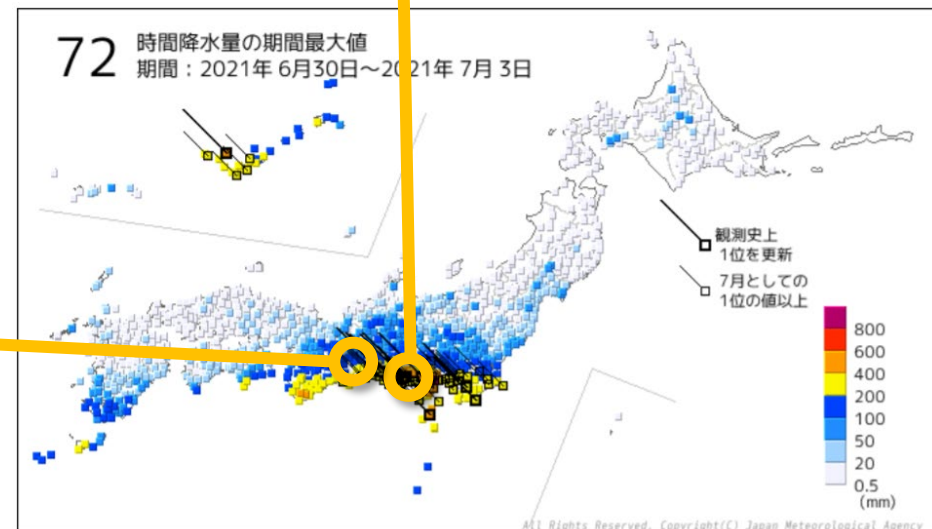
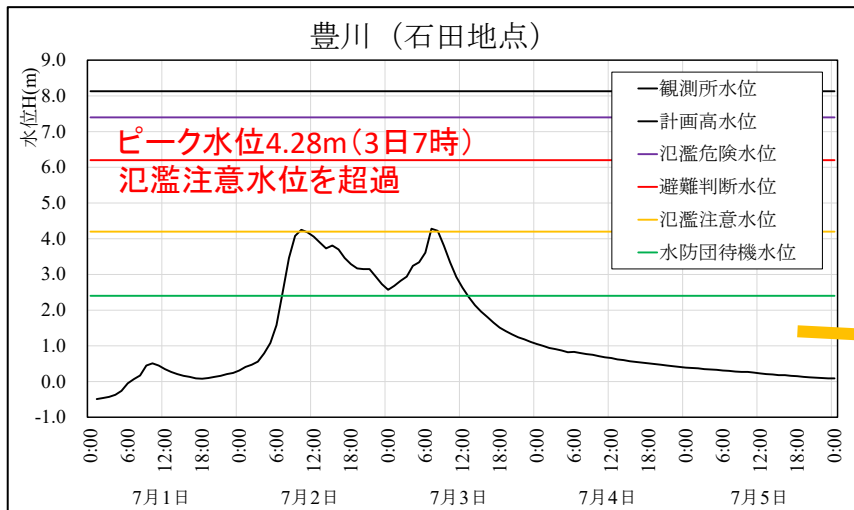
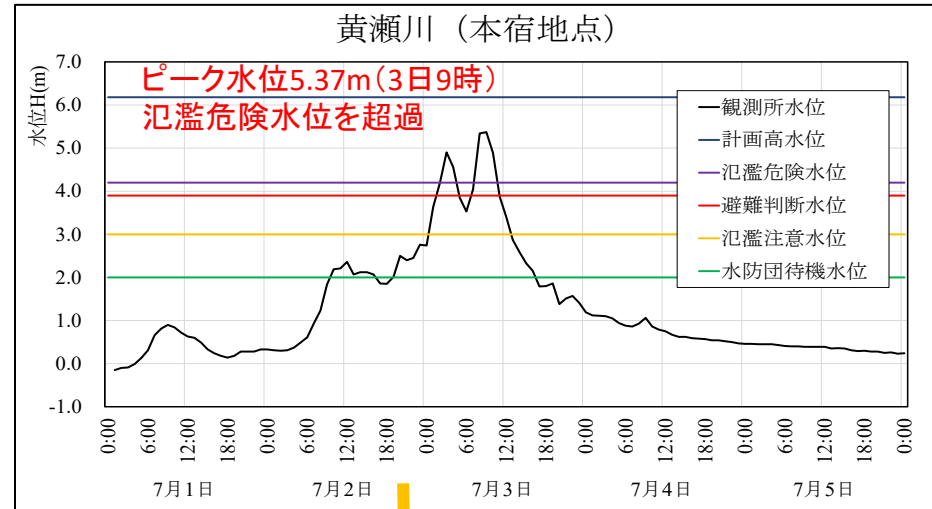
③河川の被害

- 国、都道府県管理河川あわせて26水系56河川で、氾濫や河岸侵食等による被害が発生した。
- 国管理河川では、狩野川水系黄瀬川で氾濫危険水位を超過し、県道橋が沈下した。また、豊川水系豊川で氾濫注意水位を超過し、田畑等が浸水した。

※国土交通省「令和3年7月1日からの大雨による被害状況等について」(令和3年12月2日現在)



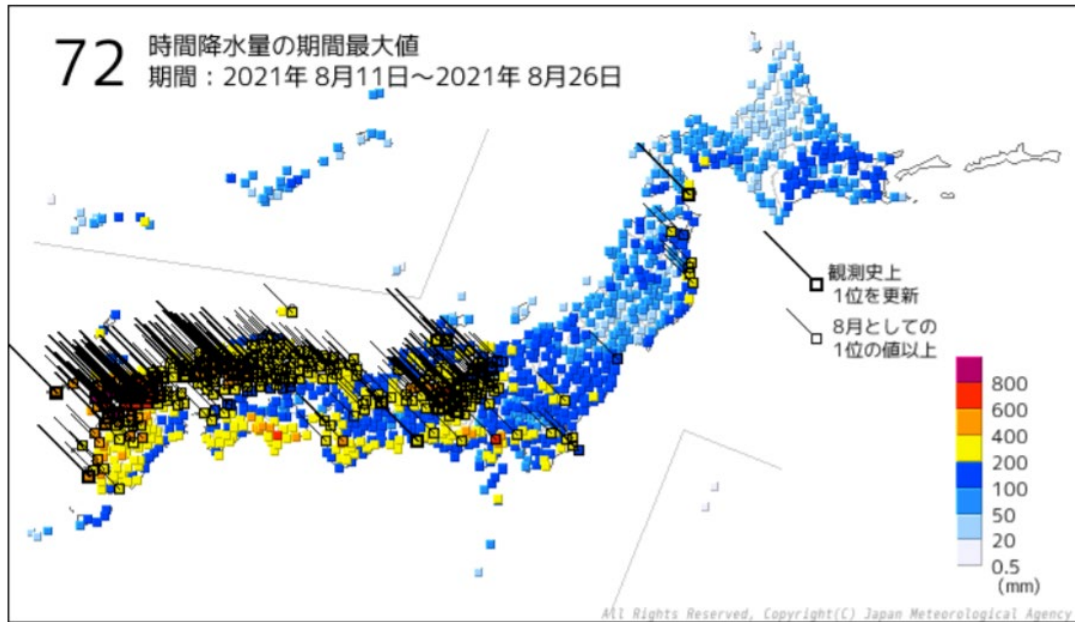
出典: 沼津河川国道事務所
「令和3年7月豪雨による狩野川水系黄瀬川の出水状況(第2報)」



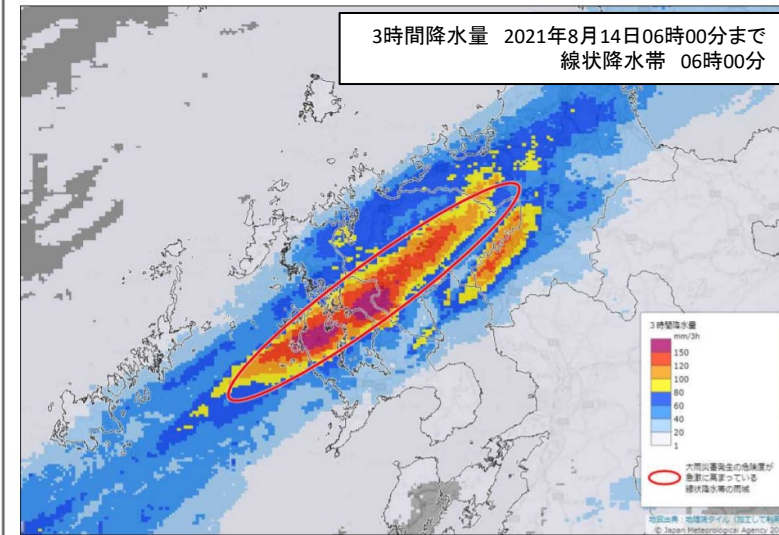
2. 令和3年8月11日からの大雨

①降雨の特徴

- 8月11日から約1週間にわたり前線が九州付近に停滞し、長崎県、佐賀県、福岡県では大雨特別警報が発令された。14日には佐賀県嬉野市で24時間降水量555.5ミリを観測し、観測史上1位の値を更新した。
- 19日から22日は、四国地方の太平洋側を中心に猛烈な雨や非常に激しい雨が断続的に降り続き、日降水量が多いところで200ミリを超える大雨となった。
- 22日以降は、台風第12号や台風から変わった低気圧の影響を受け、大雨となったところがあった。



3時間降水量(解析雨量)



気象庁：8月11日から19日の前線による大雨の状況について
(https://www.jma.go.jp/jma/press/2108/31a/20210831_saimota.html)

2. 令和3年8月11日からの大雨

②全国の被害

- 令和3年8月の大雨により、河川の増水や低地の浸水が発生し、**死者13名、住家の全半壊等1,358棟、住家浸水6,555棟の被害**となった。
- 国管理の六角川水系六角川、江の川水系江の川、豊川水系豊川、那賀川水系桑野川で氾濫が発生したほか、都道府県管理河川もあわせて**26水系68河川で、氾濫・侵食による被害が発生した**。また、下記に示す通り土砂災害による被害も発生した。

※内閣府「令和3年8月の大雨による被害状況等について」(令和3年12月14日13時現在)

土砂災害発生件数:408件

【土砂災害内訳】

土石流等: 93件

地すべり: 27件

がけ崩れ: 288件

【被害状況】

人的被害

死者 6名

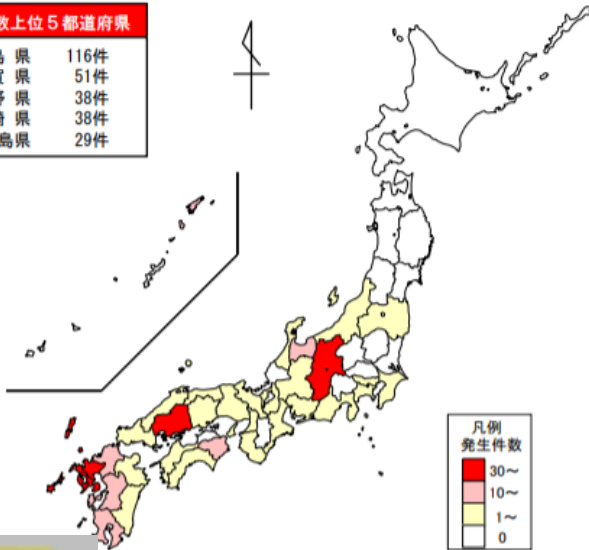
負傷者 6名

家屋被害

全壊 6戸、半壊 9戸

発生件数上位5都道府県

広島県	116件
佐賀県	51件
長野県	38件
長崎県	38件
鹿児島県	29件



位置図

※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

8/12

がけ崩れ

やめし やべむら きたやべ
福岡県八女市矢部村北矢部



8/14

土石流等

ひろしまし さえきく いつかいちちよう
広島県広島市佐伯区五日市町



8/14

土石流等

ひろしまし にしく たがた
広島県広島市西区田方



8/17

地すべり

あまくさし ほんどもち
熊本県天草市本渡町

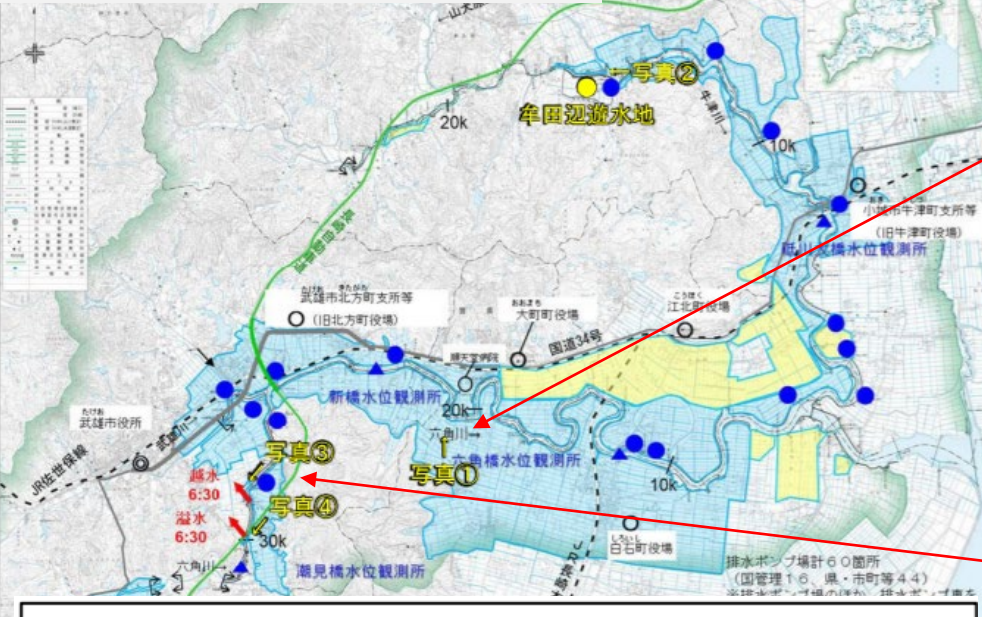


2. 令和3年8月11日からの大雨

③九州地方の被害

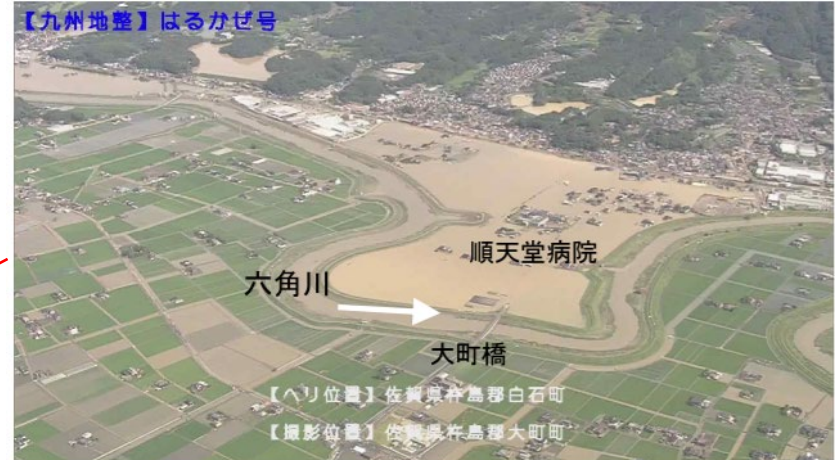
- 九州北部の5水系で**氾濫危険水位を超過**、特に六角川水系六角川では警戒レベル5相当の**氾濫発生情報が発令**された。
- 六角川流域では、面積約5,800ha、家屋約2400戸が浸水した。

六角川管内浸水推定図 (8月14日時点)



凡例

- 浸水範囲(推定)
- R元.8出水で浸水したが今回浸水を確認できなかった範囲
- 越水・溢水箇所
- 大臣管理区間
- 排水ポンプ場(国管理)



① 8/15 9:30頃 大町町 大町橋付近



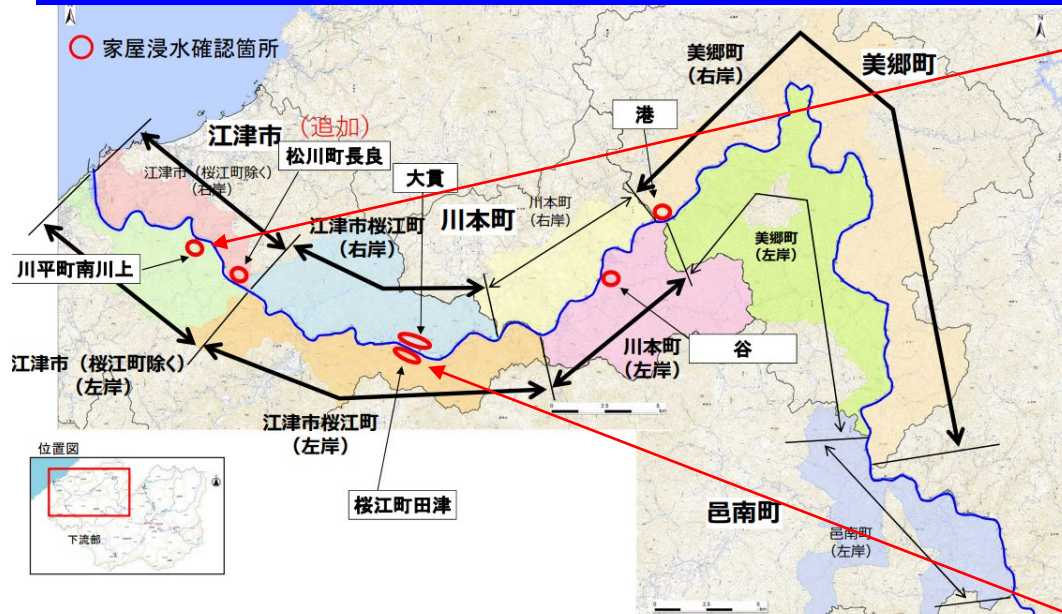
③ 8/14 6:40 六角川29k000付近 武雄市橋町大日付近(越水状況)

2. 令和3年8月11日からの大雨

④中国地方の被害

- 江の川水系江の川では下流の島根県江津市のほか、上流側の広島県三次市などでも氾濫が発生した。
- 江の川流域を含め、**広島県では461戸、島根県では22戸の家屋が浸水した。**

江の川 氾濫状況について(8月14日18時10分)



※国土交通省が設置している水位計・カメラにより確認

出典：江の川下流氾濫発生について【第5報】(令和3年8月14日) / 浜田河川国道事務所
に加筆



出典：中国地方整備局管内の出水概況【第1報】 / 中国地方整備局

姫路河川国道事務所の取組内容

1. 「川の防災情報」に関する説明動画の作成

項目
番号

17・19
20

● 「川の防災情報」の説明動画を作成

- ◆ 国土交通省サイト「川の防災情報」の活用方法を説明する動画を作成した。
- ◆ 同サイトの活用により、洪水の危険度を的確に伝え、住民の主体的な避難を促進する。
- ◆ 今後、事務所ホームページで公開し、Twitter等で周知する予定である。



「川の防災情報」の説明動画イメージ

取組を実施した効果、成果

- ◆ 「川の防災情報」の活用方法に関して住民に周知するツールを整備した。
- ◆ メディア連携協議会を通して情報を発信し、住民への普及を図る。

● 「重要水防箇所」の説明動画を作成

- ◆ 例年、関係市町と合同で行う共同点検にて、重要水防箇所の共有および点検を実施している。
- ◆ 昨今のコロナ情勢を踏まえて共同点検の実施が難しいこと、担当者への情報共有・共通認識の重要性等を鑑み、重要水防箇所説明動画の各市町版を順次作成予定(R3年度は加古川市を作成)

「越水（溢水）」の説明

① 越水（溢水）

計画上の洪水が発生したときに、

水が堤防からあふれる箇所を重要度 A
水はあふれないが、計画上の余裕高を確保できない箇所を重要度 B

重要度Aのイメージ

重要度Bのイメージ

計画上の洪水が流れた場合の水位

計画上の堤防

現在の堤防

計画上の洪水が流れた場合の水位

計画上の余裕高

計画上の堤防

10

加古川市 重要水防箇所 工作物 位置図

(全6箇所)	
距離標	重要度
(10) 右岸4.75k	A
(12) 右岸5.2k	B
(15) 右岸6.2k	B
(17) 左岸7.3k	B
(19) 右岸9.2k	B
(21) 左岸13.6k	B

13

説明動画イメージ

取組を実施した効果、成果

- ◆ 重要水防箇所に対して、現地状況の把握や情報共有を可能とするツールを整備した。
- ◆ 関係機関への情報共有のほか、事務所ホームページへの掲載により住民への周知を図る。

● 洪水時の避難について体験を通して学ぶ

◆ 大部小学校の児童を対象に、沿川の氾濫状況や浸水リスクを視覚的に実感し、早期避難の重要性を学んでもらうため、小野市と協力して防災教育を実施した。

- 日 時：12月13日（月）
- 場 所：小野市立大部小学校
- 対 象：児童約60名（小学6年生）



児童が災害対策本部車を見学する様子



ARアプリによる浸水深の確認



防災授業座学の様子

取組を実施した効果、成果

◆ 洪水に対する防災行動の重要性について、児童の理解を深めることができた。